

VMwareのイメージをVirtualBoxで使う。

1. VMwareで作られた時のマシン環境を確認するために、.vmxファイルをテキストエディタで確認する。特にメモリの大きさを確認する。



```
15js.vmx
.encoding = "UTF-8"
displayname = "15js"
guestos = "other"
virtualhw.version = "11"
config.version = "8"
numvcpus = "1"
cpuid.coresPerSocket = "1"
memsize = "2048"
pciBridge0.present = "TRUE"
pciBridge4.present = "TRUE"
pciBridge4.virtualDev = "pcieRootPort"
pciBridge4.functions = "8"
pciBridge5.present = "TRUE"
pciBridge5.virtualDev = "pcieRootPort"
pciBridge5.functions = "8"
pciBridge6.present = "TRUE"
pciBridge6.virtualDev = "pcieRootPort"
pciBridge6.functions = "8"
pciBridge7.present = "TRUE"
pciBridge7.virtualDev = "pcieRootPort"
pciBridge7.functions = "8"
vmci0.present = "TRUE"
ide1:0.clientDevice = "FALSE"
```

ここでは15時間でわかるJavaScript集中講座（技術評論社）のファイルを使用しています。で、このマシンはメモリ2048MBだということがわかったので、新規にバーチャルマシンを作っていきます。

2. 「新規」のアイコンをクリックします。必要事項を入力していきます。15時間わかるJavaScriptはCentOS7なので、バージョンをRedHat(64-bit)にします。で、「続ける」ボタンをクリックする。

名前とオペレーティングシステム

新しい仮想マシンの記述名を指定し、インストールするオペレーティングシステムのタイプを選択してください。入力した名前はVirtualBoxでこのマシンを特定するのに使われます。

名前: CentOS-JavaScript|

タイプ: Linux

バージョン: Red Hat (64-bit)

エキスパートモード 戻る 続ける キャンセル

3. メモリーサイズは1で調べたサイズを選ぶ。ここでは2048MB。この時メモリーサイズを誤るとイメージを取り込む時にエラーが出ます。後でも直せます。「続ける」ボタンを。

メモリーサイズ

この仮想マシンに割り当てるメモリー(RAM)の容量をメガバイト単位で選択してください。

必要なメモリーサイズは1024MBです。

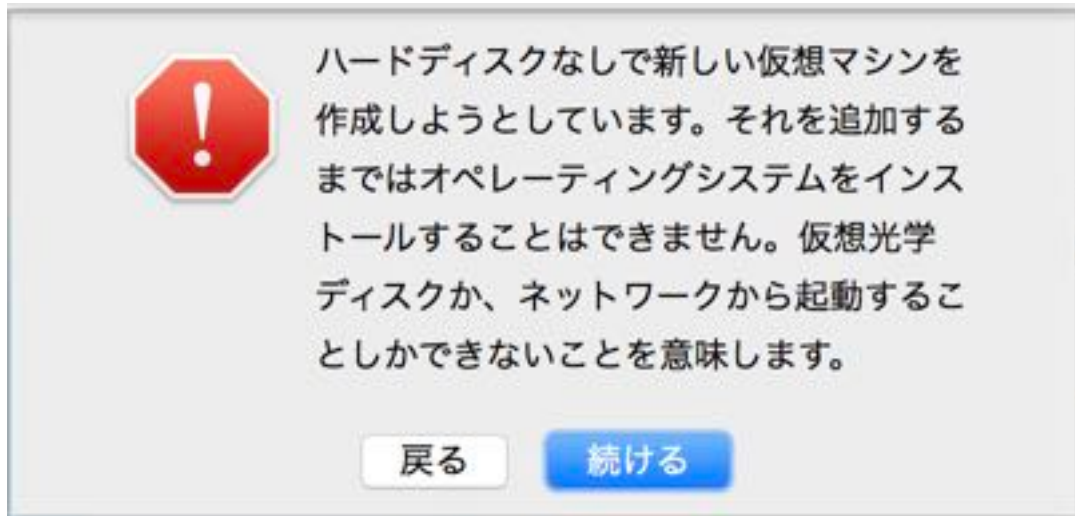
4 MB 2048 MB 16384 MB

戻る 続ける キャンセル

4. ハードディスクはここでは作成しないので、「仮想ハードディスクを追加しない」を選び、「作成」をクリックする。



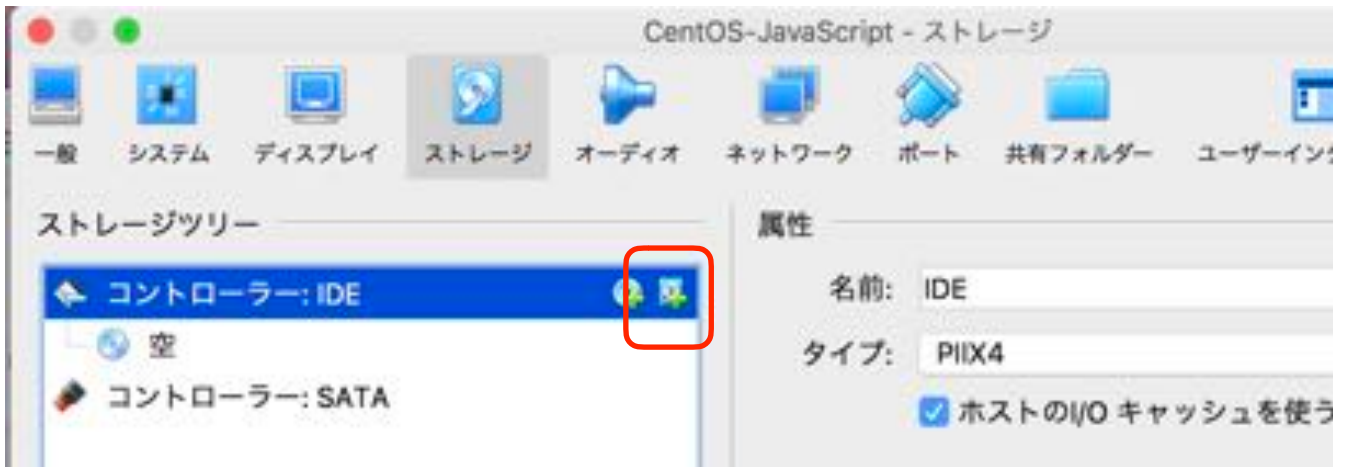
5. 下記のようなハードディスクがないというエラーが出るが、「続ける」をクリックする。



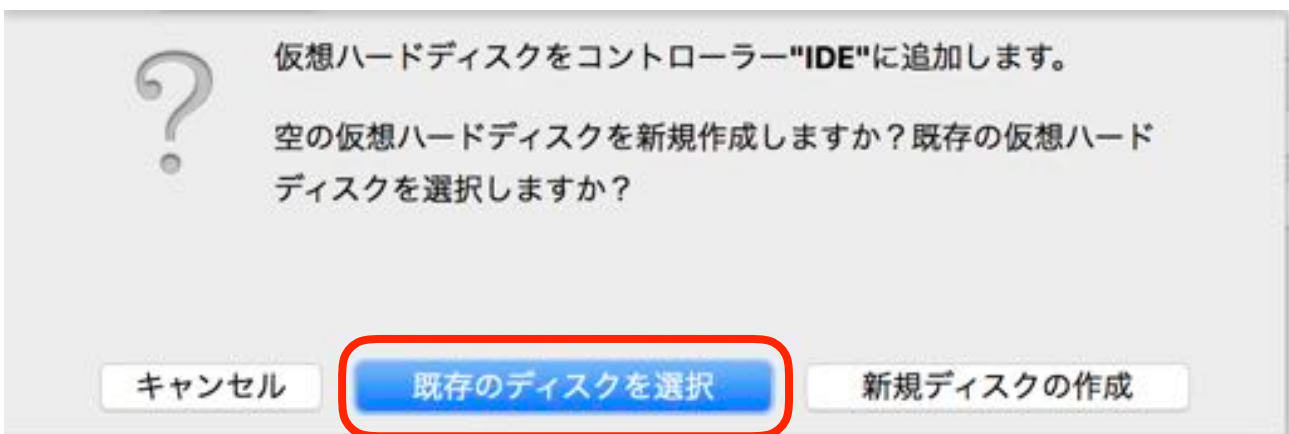
6. 作成したマシンを選び、「ストレージ」をクリックする。



7. ここでイメージを読み込むのだが、そのイメージによって、コントローラーがIDEだったり、SCSIだったりするので、試行錯誤する。今回の15時間でわかるJavaScriptはIDEで良いので、コントローラーの右端にあるドライブに+のマークのアイコンをクリックする。



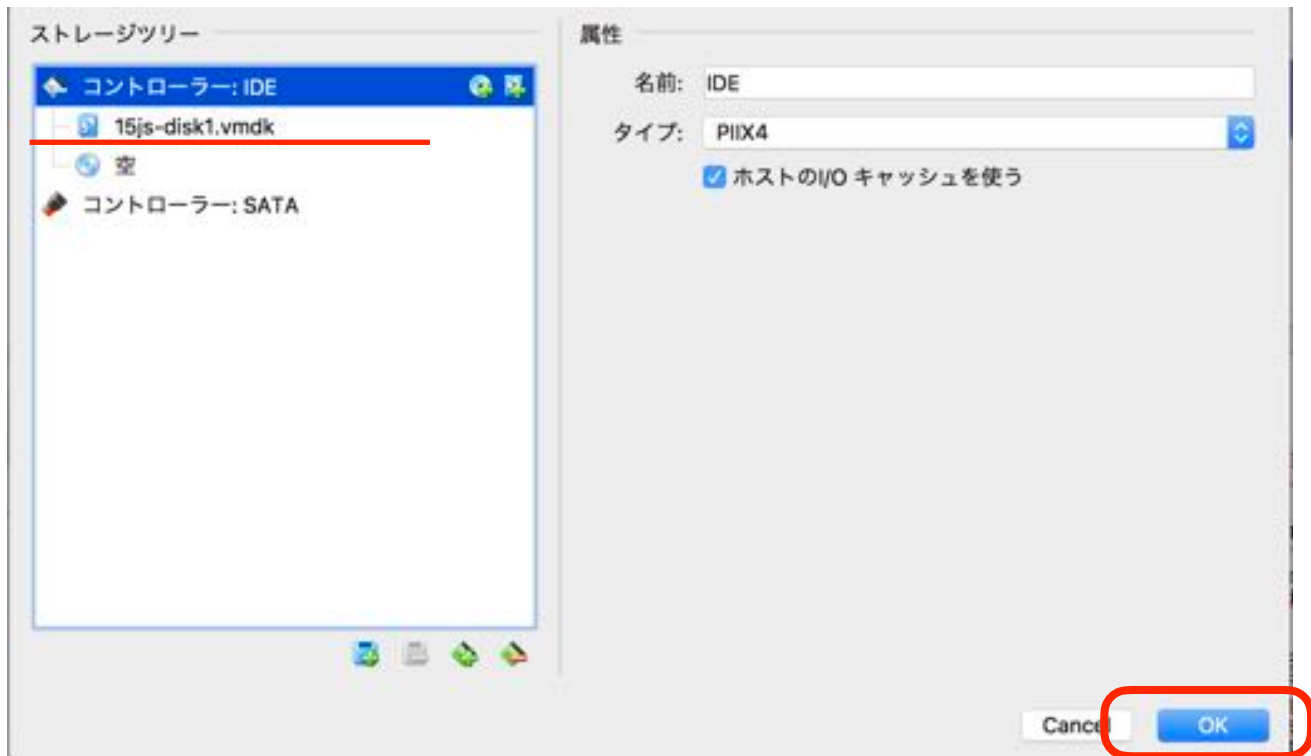
8. ここで「既存のディスクを選択」をクリックする。



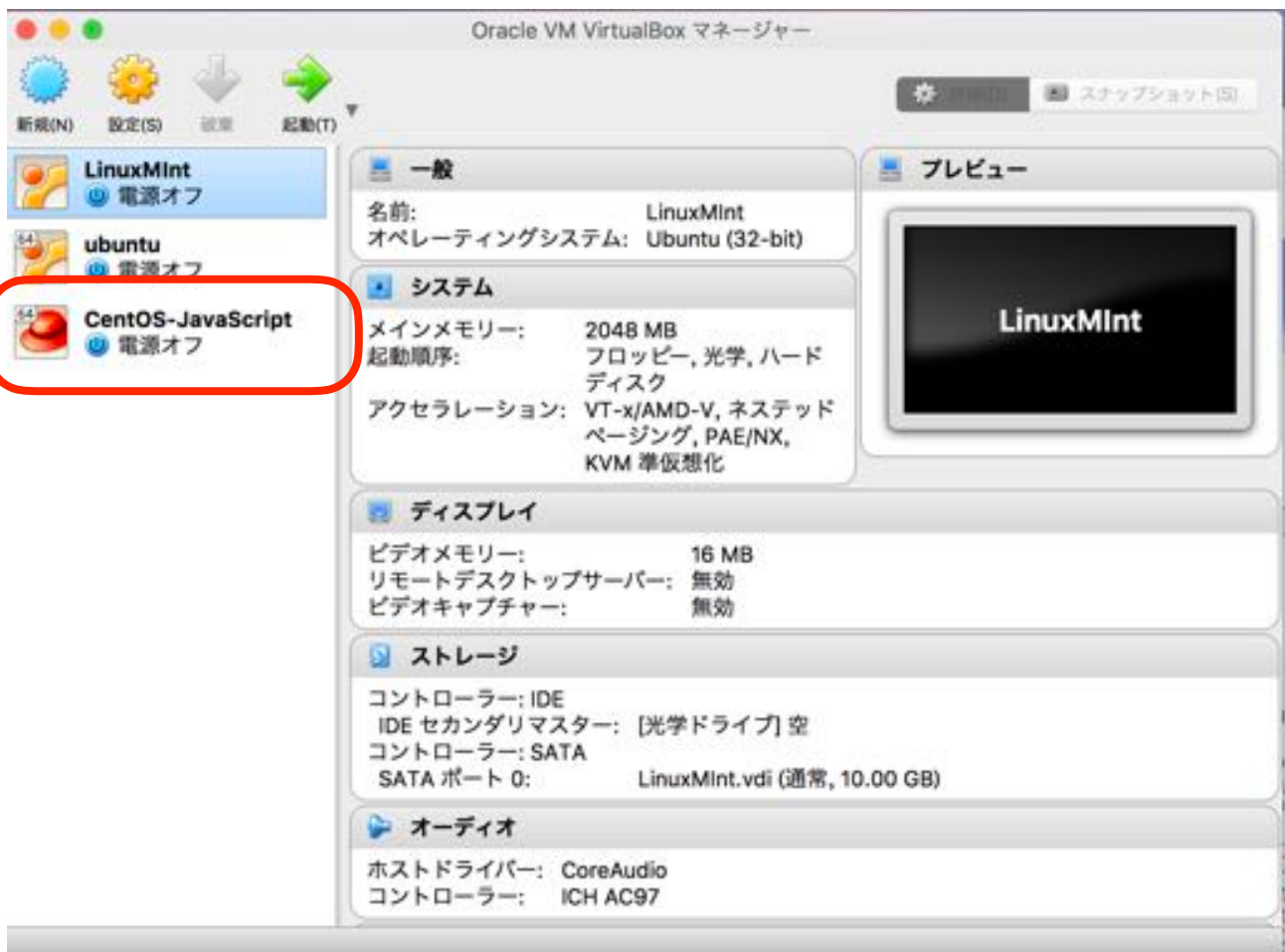
9. vmdkファイルを選択して、「開く」をクリックする。



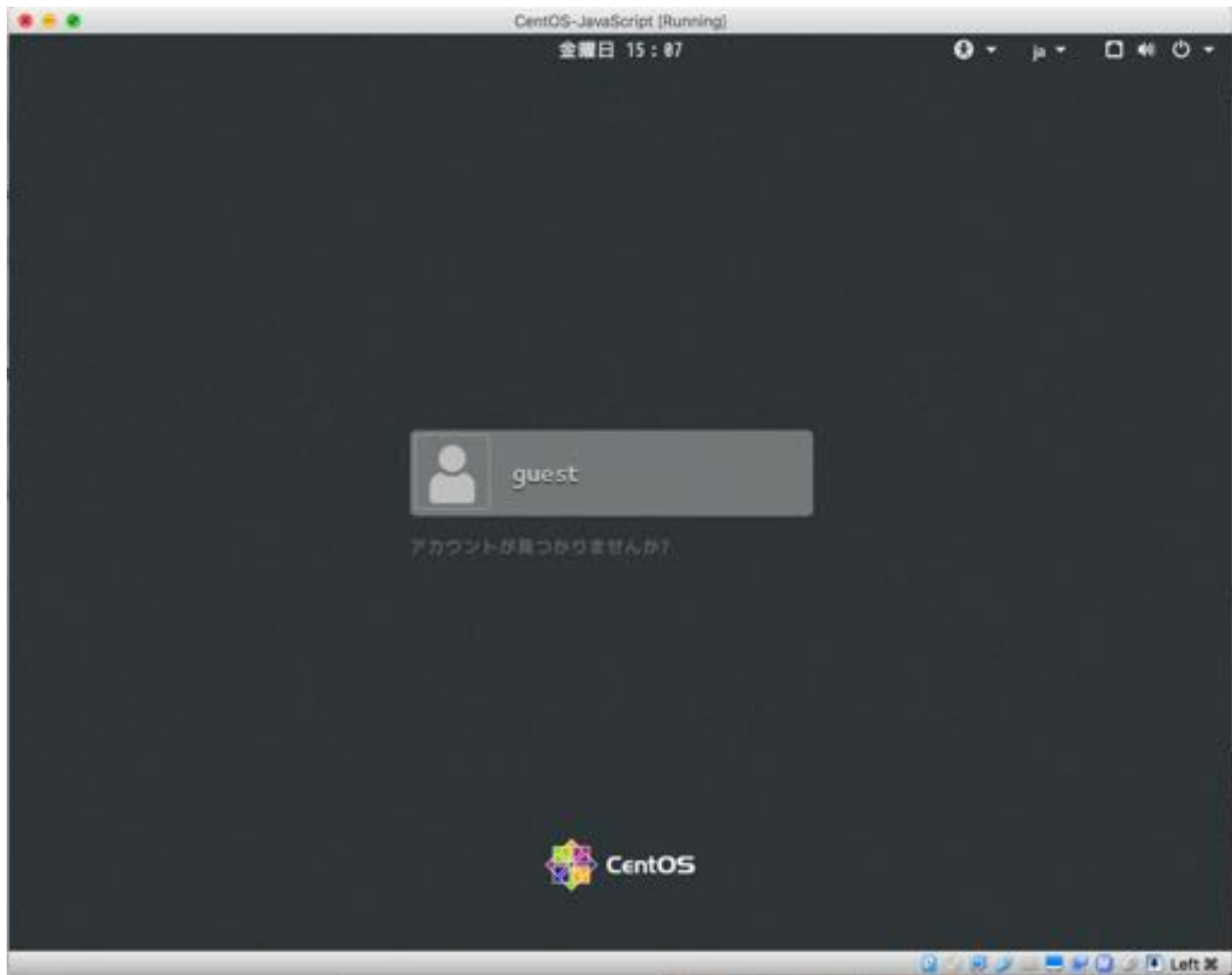
10. コントローラにvmdkファイルが読み込まれたことを確認する。ここで、メモリサイズが違っていると、エラーが出る。「OK」ボタンを押す。



11. できたマシンを選択して、「起動」ボタンをクリックすると、起動する。



12. CentOS7が起動した。



あとは書籍通り、勉強をしていけばいい。